



TITLE:

表紙、序、例言、目次、図版目次
、挿図目次、表目次、奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙、序、例言、目次、図版目次、挿図目次、表目次、奥付. 京都大学構内遺跡調査研究年報 2016, 2014

ISSUE DATE:

2016-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226464>

RIGHT:

京都大学構内遺跡調査研究年報

2014年度

京都大学文化財総合研究センター

京都大学構内遺跡調査研究年報

2014年度

京都大学文化財総合研究センター

序

本年報は、2014年度に文化財総合研究センターがおこなった、京都大学構内に残る遺跡の発掘調査のうち整理の終了したものについて、その成果をまとめたものである。4件の発掘調査報告は、それぞれ学内の施設建設予定地内に残る遺跡を対象としたものであり、京都盆地の一角を占める北白川を中心とする地域の、先史時代から近世・近代にいたる豊富な資料を得て、過去の調査成果を再検討しつつ、まとめたものである。吉田南構内の調査では、いわゆる「乙訓形土師器」と呼ばれる土器の出土をはじめとした古代・中世の土地利用、北部構内の調査では、縄文時代の地形環境、また本部構内の調査では、中・近世の白川道および幕末尾張藩邸に関する重要な知見が得られている。ご高覧いただき、ご高評をお願いしたい。

大学はその地域の文化財の調査・研究に先導的な役割を果たすとともに、それらの調査・研究成果を有効に活用し、広く社会に発信することが求められている。当センターでは、調査時における現地説明会やホームページ、あるいは尊攘堂での資料展示などを通して、一般の人に広く知ってもらえるよう努めており、本年報もその一端を担っている。

加えて昨年度からは、社会へより広く情報を発信する手段として、本学総合博物館と連携して「文化財発掘」と題した特別展の実施に取り組んでいる。本年度も、2月10日～4月17日を会期として「文化財発掘Ⅱ—京大キャンパスの弥生時代—」という特別展を開催している。総合大学という利点を生かして、調査・研究面は言うまでもなく、文化財の活用・情報発信という面においても各研究科・研究所などのご協力をお願いしたい。

終わりにあたり、学内におけるこうした発掘調査を遅滞なく進めるにあたっては、施設部をはじめとした関係部局からの多大なご協力が不可欠である。関係各位に厚くお礼申し上げるとともに、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げる次第である。

2016年3月

京都大学文化財総合研究センター長

吉 川 真 司

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2014年4月1日から2015年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学文化財総合研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：S E，土坑：S Kのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
Ⅰ：京都大学吉田南構内A M21区の発掘調査
Ⅱ：京都大学北部構内B F32区の発掘調査
Ⅲ：京都大学本部構内A U27区の発掘調査
Ⅳ：京都大学本部構内A T22区の発掘調査
（例 Ⅰ 1：京都大学吉田南構内A M21区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、富井眞が担当し、千葉豊、伊藤淳史、笹川尚紀、内記理、磯谷敦子、柴垣理恵子、長尾玲、藤森良祐が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 2014年度

目 次

第1章 2014年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
第2章 京都大学吉田南構内A M21区の発掘調査	3
1 調査の概要	3
2 層 位	6
3 縄文・弥生時代の遺跡	14
4 古墳時代および古代の遺跡	25
5 中世の遺跡	40
6 所謂「乙訓在地形土師器」と呼称される中世土師器皿類について	84
7 近世・近代の遺跡	87
8 小 結	106
第3章 京都大学北部構内B F32区の発掘調査	111
1 調査の概要	111
2 層 位	112
3 縄文時代の遺構と遺物	116
4 古代の遺構と遺物	138
5 小 結	139
第4章 京都大学本部構内A U27区の発掘調査	141
1 調査の概要	141
2 層 位	142
3 A区の遺構と遺物	142
4 B区の遺構と遺物	155

5	C区の遺構と遺物	159
6	D区の遺構と遺物	163
7	小 結	167
第5章 京都大学本部構内A T22区の発掘調査		169
1	調査の概要	169
2	層 位	169
3	中世の遺跡	170
4	近世の遺跡	172
5	文献史料などからみた白川道・尾張藩吉田屋敷	179
6	小 結	184
参 考 文 献		188
京都大学構内遺跡調査要項		191
報 告 書 抄 録		201
図 版		巻末

図 版 目 次

図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

図版 2 京都大学吉田南構内 A M21 区

- 1 北区表土除去後全景（北から）
- 2 北区中・近世遺構掘りあげ後全景（北から）
- 3 北区黄色砂除去後全景（北から）

図版 3 京都大学吉田南構内 A M21 区

- 1 南区表土除去後全景（東から）
- 2 南区近世遺構掘りあげ後全景（東から）
- 3 南区中世遺構掘りあげ後全景（東から）
- 4 南区完掘後全景（東から）

図版 4 京都大学吉田南構内 A M21 区

- 1 北区流路 S R 1 黄色砂除去後（北から）
- 2 北区流路 S R 1 調査区北壁断面（南から）
- 3 南区流路 S R 1 黄色砂除去後（南から）
- 4 南区褐色粘質土内遺物集中出土地点調査状況（東から）
- 5 南区流路 S R 1 ・ S R 5 調査区北壁断面（南から）

図版 5 京都大学吉田南構内 A M21 区

- 1 北区 S D10 埋土上部集石（南西から）
- 2 北区 S D10 埋土内遺物出土状況（調査区北壁際・北から）
- 3 北区 S D10 断面（東西方向部畔・東から）
- 4 北区 S D10 断面（調査区北壁・南から）
- 5 北区 S D13 北肩部分断面（調査区東壁・東から）
- 6 北区不定形土坑断面（調査区西壁・東から）

図版 6 京都大学吉田南構内 A M21 区

- 1 北区 S K15 遺物出土状況（北西から）
- 2 北区 S D15 下部遺物出土状況（南東から）
- 3 北区 S K 5 遺物出土状況（南から）
- 4 北区 S K12 遺物出土状況（南から）

5 北区 S K19 遺物出土状況（南から）

6 北区 S X10 遺物出土状況（南から）

図版 7 京都大学吉田南構内 A M21 区

1 南区西半近世遺構全景（南から）

2 南区西半古代・中世遺構全景（南から）

3 南区不定型土抗群（北から）

4 南区建物 S H 1・集石 S X62（南から）

図版 8 京都大学吉田南構内 A M21 区

1 南区井戸 S E12 井筒検出状況（東から）

2 南区井戸 S E12 井筒底面遺物出土状況（その 1・北東から）

3 南区井戸 S E12 井筒底面遺物出土状況（その 2・北西から）

4 南区中央北半中世遺構全景（南から）

5 南区牛歯一括出土 S X68（北から）

6 南区土器溜 S X48（南から）

図版 9 京都大学吉田南構内 A M21 区

1 南区集石 S X55 下部土器溜（西から）

2 南区瓦溜 S K23（南から）

3 南区土器溜 S K25（西から）

4 南区遺物溜 S K26（西から）

5 南区 S P369 内遺物出土状況（北から）

6 南区近世段差際集石 S X37（手前）・溝 S D25 西肩配石（奥）（とも南西から）

図版10 京都大学吉田南構内 A M21 区

縄文時代の土器(1)

図版11 京都大学吉田南構内 A M21 区

縄文時代の土器(2)

図版12 京都大学吉田南構内 A M21 区

縄文時代の土器(3), 弥生時代の土器(1)

図版13 京都大学吉田南構内 A M21 区

1 弥生時代の土器(2)

2 石器・石製品

- 図版14 京都大学吉田南構内A M21区
古墳時代・古代の遺物
- 図版15 京都大学吉田南構内A M21区
S K 12出土遺物, S X 25出土遺物, S X 48出土遺物
- 図版16 京都大学吉田南構内A M21区
S K 25出土遺物, S X 55出土遺物, S X 58出土遺物, S K 23出土遺物,
S X 50出土遺物, S X 51出土遺物
- 図版17 京都大学吉田南構内A M21区
S D 34出土遺物, S X 62出土遺物, S X 63出土遺物
- 図版18 京都大学北部構内B F 32区
1 黒色土掘削後、北区全景（東から）
2 表土掘削後、南区全景（北東から）
- 図版19 京都大学北部構内B F 32区
1 北区S X 1（西から）
2 北区S X 2（北から）
3 南区南辺中央、遺物出土状況（北西から）
- 図版20 京都大学北部構内B F 32区
北区出土縄文土器(1)
- 図版21 京都大学北部構内B F 32区
北区出土縄文土器(2)
- 図版22 京都大学北部構内B F 32区
1 南区北西隅出土縄文土器
2 南区北辺中央出土縄文土器(1)
- 図版23 京都大学北部構内B F 32区
南区北辺中央出土縄文土器(2)
- 図版24 京都大学北部構内B F 32区
1 南区北辺中央出土縄文土器(3)
2 南区南西隅出土縄文土器
- 図版25 京都大学北部構内B F 32区
南区南辺中央出土縄文土器(1)

図版26 京都大学北部構内B F 32区

- 1 南区南辺中央出土縄文土器(2)
- 2 石器類

図版27 京都大学本部構内A U 27区

- 1 黒色土掘削後のA区全景（南から）
- 2 褐色土掘削後のB区全景（南から）
- 3 表土掘削後のC区全景（北から）
- 4 黒色土掘削後のD区全景（北から）

図版28 京都大学本部構内A U 27区

- 1 A区第15層上面の地形（南西から）
- 2 溝SD 2・道路SF 1（南から）
- 3 溝SD 1断面（東から）
- 4 溝SD 1（西から）
- 5 集石SX 5・SX 6（南西から）
- 6 野壺溝SE 1（西から）

図版29 京都大学本部構内A T 22区

- 1 井戸SE 1（東から）
- 2 溝SD 1掘削後、道路SF 1上面（東から）

挿 図 目 次

吉田南構内A M 21区の発掘調査	
図1 調査地点の位置……………	3
図2 調査区の地区割りと近代以降の 攪乱範囲概略……………	5
図3 北区東壁の層位……………	7
図4 北区北壁の層位……………	9
図5 北区西壁の層位……………	9
図6 南区北壁の層位……………	10
図7 南区南壁の層位（東部）……………	13
図8 南区南壁の層位（西部）……………	13
図9 弥生時代以前の主要遺構配置図 ……………	15
図10 縄文時代の土器(1)……………	17
図11 縄文時代の土器(2)……………	18
図12 縄文時代の土器(3)……………	19
図13 弥生時代の土器(1)……………	20

図14	弥生時代の土器(2)……………	21	図36	S X 25出土遺物(2)……………	57
図15	縄文～弥生時代の石器・石製品 ……………	23	図37	S X 27出土遺物……………	58
図16	古墳時代～古代の主要遺構配置図 ……………	25	図38	S X 48出土遺物……………	60
図17	井戸 S E 12……………	26	図39	S P 369, S P 289, S X 38 出土遺物……………	61
図18	古墳時代の遺物……………	29	図40	S K 25, S K 26出土遺物……………	62
図19	S E 12, S K 28, S X 69, S X 28, 黒褐色土出土遺物……………	31	図41	S X 64出土遺物……………	63
図20	S D 17, S D 18, S D 39, S D 43, S D 48, S D 49, S D 50, S D 51, S D 52出土遺物……………	33	図42	S K 15, S K 16出土遺物……………	66
図21	古代の遺物(1)……………	35	図43	S X 60, S K 24, S X 56, S X 57, S X 58, S X 52出土遺物……………	67
図22	古代の遺物(2)……………	36	図44	S K 27, S X 59, S X 65, S X 66, S X 67出土遺物……………	68
図23	古代の遺物(3)……………	37	図45	S X 55出土遺物……………	69
図24	古代の遺物(4)……………	39	図46	S K 23出土遺物……………	70
図25	中世主要遺構配置図……………	41	図47	S X 49, S X 50, S X 51, S X 53 出土遺物……………	71
図26	溝の断面形状……………	43	図48	S D 10出土遺物(1)……………	72
図27	建物 S H 1……………	45	図49	S D 13, S D 10出土遺物(2)……………	73
図28	出土土師器の計測結果(その1) ……………	49	図50	S D 14, S X 26, 茶褐色土 出土遺物……………	74
図29	出土土師器の計測結果(その2) ……………	50	図51	S D 34, S D 36, S D 35出土遺物 ……………	75
図30	S K 12出土遺物(1)……………	51	図52	S X 61出土遺物……………	76
図31	S K 12出土遺物(2)……………	52	図53	S X 62, S X 63出土遺物……………	77
図32	S K 12出土遺物(3)……………	53	図54	S P 279, S P 277, S P 165 出土遺物……………	78
図33	S K 19出土遺物……………	54	図55	S X 14, S X 18, S X 22, S X 23, S X 24, 北区不定形土坑出土遺物 ……………	79
図34	S K 5, S K 6, S K 11, S K 17, S K 18, S K 20出土遺物……………	55	図56	S X 42, S X 47, S E 11,	
図35	S X 25出土遺物(1)……………	56			

南区不定形土坑出土遺物	80
図57 茶褐色土出土遺物(1)	81
図58 茶褐色土出土遺物(2)	82
図59 出土銭貨の種類と出土遺構	83
図60 近世主要遺構配置図	89
図61 S X 10, S E 3, S E 4, S E 6 出土遺物	91
図62 S E 7, S P 116出土遺物(1)	92
図63 S P 116出土遺物(2)	93
図64 S P 116出土遺物(3), S D 28 出土遺物	94
図65 S X 39, S X 46出土遺物	95
図66 S X 40, 不定形土坑群出土遺物(1)	96
図67 不定形土坑群出土遺物(2)	97
図68 近代の磁器(1)	99
図69 近代の磁器(2)	100
図70 近代の磁器(3)	102
図71 近代磁器の意匠・釉印など	102
図72 西洋陶器(1)	104
図73 西洋陶器(2)	105

北部構内B F 32区の発掘調査

図74 調査地点の位置	111
図75 層位(1)	113
図76 層位(2)	114
図77 縄文時代の遺構	116
図78 北区出土土器(1)	118
図79 北区出土土器(2)	119
図80 北区出土土器(3)	120

図81 北区出土土器(4)	121
図82 北区出土土器(5)	123
図83 南区北西隅出土土器	124
図84 南区北辺中央出土土器(1)	125
図85 南区北辺中央出土土器(2)	126
図86 南区北辺中央出土土器(3)	127
図87 南区北辺中央出土土器(4)	128
図88 南区南西隅出土土器(1)	129
図89 南区南西隅出土土器(2)	131
図90 南区南辺中央出土土器(1)	132
図91 南区南辺中央出土土器(2)	133
図92 南区南辺中央出土土器(3)	134
図93 南区南辺中央出土土器(4)	135
図94 石器	137
図95 古代の遺構	138
図96 古代の遺物	139

本部構内A U 27区の発掘調査

図97 調査地点の位置	141
図98 A区西壁・A区東壁の層位	143
図99 B区東壁・D区東壁の層位	144
図100 A区第15層上面の地形	145
図101 A区検出の遺構	146
図102 S D 2・S F 1の層位	147
図103 S D 1畔東壁の層位	148
図104 S D 2, S X 1, 黒色土, S D 1 出土遺物(1)	149
図105 S D 1出土遺物(2)	151
図106 S D 1出土遺物(3)	152
図107 小穴, 茶褐色土, 断割, 表土	

出土遺物	153
図108 B区・C区・D区褐色土上面 検出遺構	154
図109 B区・C区・D区黒色土上面 検出遺構	155
図110 B区・C区・D区茶褐色土上面 検出遺構	156
図111 小穴，褐色土，黒色土 出土遺物	157
図112 黒色土，茶褐色土出土遺物	158
図113 S X 10，S X 9，S X 8，S X 7， 小穴，褐色土，黒色土，茶褐色土 出土遺物	162
図114 灰褐色土，表土出土遺物	163
図115 褐色土，S K 1，S X 3，S X 4， S X 2，茶褐色土出土遺物	165

図116 S E 1，灰褐色土出土遺物	166
---------------------	-----

本部構内 A T 22区の発掘調査

図117 S D 1・S F 1・S D 2・S F 2 の層位	170
図118 中世の遺構	171
図119 S E 1掘形・石組内，S F 2 出土遺物	172
図120 近世の遺構	173
図121 S F 1 D・C・B層出土遺物	175
図122 S F 1 A層，S D 2下層出土遺物	176
図123 S D 2上層出土遺物(1)	177
図124 S D 2上層出土遺物(2)	178

表 目 次

表1 層位の記載	115
----------	-----

表2 京都大学構内遺跡のおもな調査	192
-------------------	-----

2016年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2014年度

編 集	京都大学文化財総合研究センター
発 行	京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
印 刷	三 星 商 事 印 刷 株 式 会 社
製 本	京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300